

大学コンソーシアムひょうご神戸
2022年度 第1回 国際交流委員会【Zoom】
議事録

日 時：2022年4月25日（月）15：00～16：00

場 所：オンライン Zoom

委員校：兵庫県立大学（別所）、神戸市外国語大学（金子、辻井）、明石工業高等専門学校（藤原）

芦屋大学（巖）、関西国際大学（竹下）、関西学院大学（澤村）、聖和短期大学（澤村）、
芸術文化観光専門職大学（河合）、甲南大学（中川）、神戸大学（河合、四方）、神戸学院大学（高山）、
神戸国際大学（北）、神戸女学院大学（門谷）、神戸親和女子大学（毛利）、神戸常盤大学（鈴木）、
神戸常盤大学短期大学部（鈴木）、園田学園女子大学（井上）、園田学園女子大学短期大学部（井上）、
姫路獨協大学（石）、兵庫大学（栗）、兵庫大学短期大学部（栗）

欠席校：大手前大学、大手前短期大学、関西福祉大学、甲南女子大学、神戸市看護大学、神戸海星女子学院
大学、神戸松蔭女子学院大学

I. 報告事項

1) 2022年度国際交流委員会委員校について

(資料1)

各委員校の国際交流事業の状況、取り組み事例等の共有（自己紹介も兼ねて）

各大学から自学での国際交流プログラムの紹介やコロナ禍での留学生の受け入れ状況、また海外留学プログラムについて情報共有を行った。内容としては、学生寮に住む日本人と留学生がパートナーになって自国紹介や言語を教え合う国際交流イベントの紹介があった。また、コロナ禍のためこの2年間対面での留学プログラムを実施できなかった大学が多かったが、留学生の受け入れについては、4月から対面で受入をスタートしている大学が多く、それに伴い留学生の状況把握にも努めたいという声もあった。これまでのオンライン留学の手法も取り入れつつハイブリッドでの留学を検討しているという声も聞かれた。日本人学生の対面の海外留学や語学研修についても徐々に再開に向けて動き出している様子が聞かれ、実際に4月から学生を送り出しているという報告もあった。送り出しにあたり、コロナ感染のリスク管理の大切さについても伝えられた。また今年度から新たに開学した大学からは、語学研修や留学に行くことが単位や卒業に響くこともあり、留学に踏み切れない学生もいるとの課題が挙げられた。また、コンソーシアムに対し、今後各大学間の問題解決に向けての繋ぎ役となる事、各大学の情報の取りまとめを行う役割を担って欲しい、等の意見も聞かれた。

2) 事業委員会運営に関する申し合わせについて

(資料2)

事業委員会運営に関する申し合わせについて、コンソの鈴木職員から昨年度から改定した箇所について説明があった。

II. 協議事項

2022年度国際交流委員会事業計画について

(資料3)

① 学生海外派遣プログラム 神戸常盤大学

外国人留学生と日本人学生等の交流促進について、神戸常盤大学の鈴木委員より説明があった。

神戸常盤大学では、10日間アメリカもしくはネパールの大学に行き単位互換を行うということをも

年行っており、9月から派遣予定であった。しかし、現在のコロナの状況から、現地での隔離期間やワクチン接種、保険等の問題が不透明であった事、医療実習の内容を考えるとオンライン実施への変更が不可能であることから、今年度は開催中止が決定したと報告があった。

② 模擬国連演習（NMUN） 神戸市外国語大学

模擬国連演習（NMUN）について神戸市外国語大学の辻井委員より説明があった。

神戸市外国語大学では、模擬国連の世界大会を11月に開催予定である。23日～27日に開催する本プログラムに向けての準備を行う授業を開講する。2016年の第1回開催に続き2020年に第2回を開催する予定であったが、留学生がコロナウイルスの為に入国できなかったことから開催が出来ず、今年に延期になったと説明があった。各大学に開講期間と募集人数が伝えられた。また、400名の参加者のうち300名が海外からの参加者ということもあり、今年も留学生が入国できなくなった際には中止になる可能性もある事が伝えられた。

③ 兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業・2022年度国際交流委員会事業予算について 大学コンソーシアムひょうご神戸

兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業・2022年度国際交流委員会事業予算についてコンソ鈴木職員から説明があった。兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業について、日本学生支援機構の受託を受けて今年度も実施する。「外国人留学生の活用と相互理解・共生推進のための事業」「高度外国人材としての留学生向けキャリアサポート」「防災教育「防災セミナー」」「地域連携プログラム「英語村」」「留学生・国際交流情報の発信事業・支援者間ネットワークの体制整備」の5本の柱とそれぞれのプログラムについて説明があった。現段階で決定しているイベントや加盟校大学と連携しながら進めていく予定であるイベントについて紹介があった。また、加盟校学生が参加できるもので連携できそうなものがあれば教えて欲しい事、「地域連携プログラム「英語村」開催にあたり、提携先のアイデアがあれば教えて欲しい事が伝えられた。また今後大学間での意見交換や情報共有を積極的に行っていきたい事、加盟校のニーズに沿ったものを開催していききたい事が伝えられた。

2022年度国際交流委員会事業計画①～③については、全て承認された。

また、資料をもとに今年度の事業予算案について改めて報告があった。

III. 連絡・調整事項

兵庫県立大学別所課長より、2022年度の国際交流委員会開催日程について、対面またはメール審議で行う予定である事、基本的にはメール審議を中心に行っていく予定である事が伝えられた。

以上